

リつめい

題字・末川 博名誉総長

R Alumni

立命館大学校友会

立命館大学校友会報

NO.
251

2013
JANUARY

Brilliance
輝くひと
83

世界で一番だと信じられるものを
「バイオハザード」最新作開発チームを指揮する
株式会社カプコンプロデューサー
平林良章さん(60歳)



特集Ⅱ

特集Ⅰ

校友会未来人財育成基金

校友による新たな「後輩・母校支援」が始まります！

夢の舞台オリンピック

2012ロンドンオリンピック出場の校友選手へ、後輩学生によるインタビュー



BIOHAZARD

03 特集 I

校友会未来人財育成基金

～校友による新たな「後輩・母校支援」が始まります！～



06 特集 II

夢の舞台オリンピック

～2012ロンドンオリンピック
出場の校友選手へ、後輩学生によるインタビュー～



01 輝くひと

平林良章 さん

08 RITSUMEI INTERVIEW

北海道環境生活部環境局エゾシカ対策室参事
吉田恵子さん



12 震災関連記事

立命館大学校友会東日本大震災復興支援事業
『東北応援ツアー』レポート

立命館大学校友会東日本大震災義援金について

16 「オール立命館校友大会2012in新潟」開催報告

18 校友会ネットワーク

20 沖縄返還40周年に寄せて

OKINAWAから沖縄へ。学生時代に迎えた故郷・沖縄の復帰

21 校友たちの後輩支援活動

～学生支援に取り組む能楽部OB会～

22 立命館の研究者たち

理工学部 村田順二助教・谷泰弘教授研究グループ

24 学生イベント&スポーツ

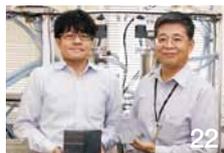
26 キャンパストピックス

29 +Rな人

藤吉陽之さん

30 INFORMATION

31 編集室から



｜ 輝くひと ｜

『バイオハザード』
最新作開発チームを指揮する
株式会社カプコン プロデューサー

ひらばやし よしあき
平林 良章 さん
(00経済)

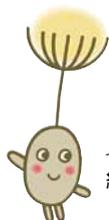
世界で一番だと信じられるものを

全世界でシリーズ累計販売5千5百万本超を記録する超人気ゲームソフト『バイオハザード』と言えば、ゲーム好きのみならずとも聞き覚えがあるだろう。今秋発売されたシリーズ最新作『バイオハザード6』のプロデューサーを務めるのが平林良章さんだ。

学生時代は演劇部に所属し、芝居一色の毎日を過ごした。芝居への情熱以外においては「フワフワした学生」で、将来へのビジョンも特になく、就職活動も周囲の流れに乗ってなんとなく取り組んだ。金融系企業から内定をもらったが、そこで初めて進路を見つめ直した。「経済学部だから金融という安易な考えで進めた就職活動。何をしたいかという目標があって、そのために就職活動をするのが本来であるはずなのに、僕はずっと目標を見ないまま進んできた。自分が本当にやりたいことってなんだろう？ 芝居のように、ものを作り、それを誰かに届けるといふ表現活動を生業としたい」。進路を変更し、技術を手に入れようと映像やデザインの専門学校に進学。卒業制作を見たカプコンから声がかかり、バイオハザード開発チームのデザイナーとして入社した。

平林さんにとって、『バイオハザード6』はプロデューサーとしてのデビュー作となる。「入社以来携わってきた自分としても一番思い入れのあるシリーズ。デビューがその人気シリーズの最新作というのは、うれしいことである反面、顧客の期待が高まる中で『6』として今あるべき姿を見出さなければならないプレッシャーは相当なモノでした。目指してきたのは、世界で一番お客様に満足してもらえるのだと信じられるまでやること。そうして出来たのが『6』。重圧を乗り越えて無事に発売を迎えた今の気持ちは？「解放感？ まったくないです！ これからがスタートだから」。

「経験に無駄なもの一つもない。むしろ経験しないという経験をしないでほしい」。充足感に満ちた表情には、フワフワしていた学生の頃の面影はもう見当たらない。



イメージキャラクター
綿毛のポポ



特集 I



校友会 未来人財育成基金

～ 校友による新たな『後輩・母校支援』が始まります！～

立命館大学校友会は、1919年の発足以来、「母校の発展を支援し、あわせて会員相互の親睦を図ること、および社会の発展に貢献すること」(校友会会則第2条)を活動の原点に据えて歩んできました。これは、「未来を信じ、未来に生きる」の精神を持って卒業した校友が、その精神のもとに発展を続ける母校を時に憂い、時に誇りに思うことでもあり、この精神を脈々と受け継いできた歴史であるといえます。改めてこの原点に立ち返ると、「(略)現役学生・院生に対する様々な支援」(校友会会則第3条3項)をさらに充実させることが、「母校の発展を支援すること」であるといえます。

現在、立命館大学は高等教育機関として国内外から一定の評価を得ていますが、厳しい社会情勢と急速に進む少子化の中、将来にわたって社会から「選ばれる大学」であり続けることが求められています。

また、社会人基礎力や創造力の養成、グローバル人材の育成など、社会からの期待も高まっており、立命館学園の中長期ビジョンである「学園ビジョンR2020」はこうした期待に応え、広くグローバル社会から選ばれる大学となるための新たな挑戦と、決意が示されています。その中で「Creating a Future Beyond Borders 自分を超越る、未来をつくる」というスローガンのとおり、ダイバーシティ(多様性)を受け入れ、一人ひとりのチャレンジで新たな未来を創造していくことを目指しています。

立命館大学校友会は、母校に学ぶ後輩を支える最大のサポーター組織であり続けるために、校友一人ひとりの「立命館の未来は私が創る」という想いを紡ぐ、恒常的に息の長い支援が続けられるサイクルを生み出したいと考えました。校友の支援で後輩が育ち、後輩の成長が母校を発展させる、その具体化が「校友会未来人財育成基金」です。



後輩・母校のために・・・

立命館大学校友会は、「校友会未来人財育成基金（以下、基金）」の具体化のために、「未来人財育成基金募集推進特別委員会（以下、特別委員会）」を7月に設置しました。また、「RFS」・「RFSリーダーズ」が、「基金」の理念の共感者の輪を拡げ、身近に感じていただくための活動を全国各地で展開していきます。

RFSとは・・・

立命館未来サポーター（Ritsumeikan Future Supporter）の略称。後輩・母校の未来のため、都道府県単位で「基金」の理念の共感者の輪の拡大に中心的な役割を担っている校友。各地において、広報活動を行なっています。

RFSリーダーズとは・・・

「特別委員会」の委員であり、各地域ブロックのRFSのリーダー。各地域ブロックでの「基金」の理念の共感者の輪の拡大において、牽引役を担っている校友。RFSと連携しながら、活動を促進させていきます。

「校友一人ひとりが主人公」となる、新たな校友会の取り組みにぜひご参加ください！

9/22～23「RFS合宿」開催！

9月22日（土）～23日（日）に、基金の理解促進、募集推進活動の具体案作成、「RFS」・「RFSリーダーズ」のネットワーク強化などを目的とした「RFS合宿」を京都市内で開催し、全国から60名の「RFS」・「RFSリーダーズ」が集いました。

最初に、特別委員会の住野公一委員長の挨拶、森島朋三立命館常務理事による学園の近況と今後の展開に関する紹介、村上高久委員長代行による基金の説明等が行なわれ、参加校友は熱心に内容に聞き入っていました。

日本における小額寄付の先駆的存在である、一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパンの佐藤大吾代表理事によるワークショップでは、基金の理念や意義、共感者の輪の拡げ方について知識を深めました。また、地域ブロック毎に分かれたメンバー同士で、2日間にわたり基金の活用方法や、募集を進める方法などについて意見交換を行ないました。

12月15日（土）の第2回目の特別委員会では、合宿で提案された多くのアイデアをベースにしつつ、今後の展開に関する議論を行ないました。詳細については、今後、会報やHPなどでご報告します。



「RFS合宿」にて提案された基金活用のアイデア（一部抜粋）

用途について

- ・海外著名大学への留学支援
- ・学生と校友の交流施設
- ・学業・課外活動などの成績優秀者への支援
- ・衣笠・草津・茨木エリアの駅から近い学生寮
- など・・・多数のアイデアが提案されました。

「校友会未来人財育成基金」に寄せられている校友の皆様からの声

R Alumni Voices

母校発展の一助となればと思い寄付をします。卒業生が誇りに思えるような学園作りをよろしくお祈いします。（40代 男性）

校友会の活性化と並行して取り組みたい。活動を広げるために、使い道などを具体的にする必要はないか。（60代 男性）

「寄付はお金に余裕がある人がする」という固定観念を少し横に置こうと思います。「卵の殻アート」のように、みんなの少しが集まるのって素敵だなと感じます。（30代 女性）

後輩支援を習慣にしてしまおう。喫茶店のコーヒー数杯で1口分の1,000円。日常生活の中で継続的にできる支援をしていこう。（50代 男性）

お寄せいただいた声を一つずつでも実現できるように取り組みを進めていきます。

後輩の学生がもっとワクワクする大学へ！今よりさらに笑顔が溢れるキャンパスになるために！

未来を信じる「力」、未来に生きる「力」をもった学生を育てるために。

あなたもぜひこの「立命館」の未来を創る活動にご参加ください。

日常的にできる息の長いご支援をお願いいたします。



継続支援にはWEB申込が便利です！

専用WEBページが10月1日にオープンしました！

「校友会未来人財育成基金」専用WEBページ

<http://gift2r.info>

※立命館大学校友会WEBページからもご覧いただけます。



←携帯電話からのアクセスはこちら！

※一部機種によっては携帯電話からご覧いただけない場合がございます。

- ★ 気軽に一口1,000円/月から何口でも継続的にご支援いただくことができます。息の長いご支援をお願いします。
- ★ WEBに加え、銀行・郵便局からでもお振込みいただけます。詳しくは校友会事務局までお問い合わせください。
- ★ この基金は、大学へのご寄付であり、大学から領収書が発行されます（税制上の優遇措置を受けることができます）。

次号（会報「りつめいNo.252」）で、「校友会未来人財育成基金」の支援先や、WEB以外のお申込方法の紹介等を掲載予定です。

夢の舞台オリンピック

～ 2012ロンドンオリンピック出場の校友選手へ、後輩学生によるインタビュー～

初めてのオリンピック

一谷 オリンピックへの出場、本当にお疲れ様でした。大会を終えて今、どんなお気持ちですか？

林 大会期間中は本当に楽しくて、終わってからあつという間にここまで来たと言う感じです。終了後すぐに国内の試合が続いていたので、オリンピックの余韻にひたる間はまったくなかったですね。これまでオリンピックを大きな目標としてやってきたので、帰国後すぐの試合は精神的な調整が難しかったです。



林 なぎささん

ヨーロッパでは、ホッケーの人気も知名度も非常に高い。ロンドンでは観客の歓声で選手同士の声が1m程度の距離でも聞こえないぐらいで、そのような環境でプレー出来たということは選手として幸せでした。

山下 林選手にとって初めてのオリンピック。出場メンバーに選ばれた時、一番に思ったことは？

林 オリンピックメンバーに入った時は、やっぱり素直にうれしかったですね。同時に、しっかり自覚をもってやらないといけないという気持ちが一段と強くなりました。自分が選ばれた一方で代表に入れなかったメンバーもいるので、選ばれたからにはそのメンバーの分まで頑張るべき責任があると出場メンバーの間でも話していました。

一谷 日本で行なわれた予選を見に行っただけですが、世界のトップレベルが集まる試合で活躍されている姿を見て、私もあんな風に頑張りたいと思いました。

山下 私も予選の応援で実際にプレーを見て憧れを持ちました。オリンピックの試合もテレビで見ているのですが、世界の強豪チームと戦う精度の高いプレーに圧倒されました。代表メンバーとして、大会まではどんな生活を送ってこられたのでしょうか？

林 代表合宿の時には朝から晩まで練習。大会が近くなれば少し練習量を落としますが、まだ大会まで日があって体力をつける時の練習は本当にきつかった。けれど厳しいトレーニングをこなしてきたことが試

合では自信になりました。

出場メンバーに決まるまでは、まったく順調ではありませんでした。遠征に連れて行ってもらっても自分だけが試合に出場できない状態がずっと続き、最終メンバーから外されることも少なくなかった。「自分はこのチームに本当に必要なのか」と考えて、代表を降りようと思ったことも何度かありました。たまたまベテラン選手のケガで自分にもチャンスが回ってきたのですが、「このチャンスを逃したら自分は本当にもうダメかもしれない」という思いで、そこからが必死でした。

一谷 代表の中で定着できなかった期間は、メンタル的にも不安定だったと思います。ポジション獲得が厳しい中で苦しい練習に耐えていかなければならない時、それを支えるものは何だったのですか？



一谷奈歩さん

林 試合に出られた時に感じたプレーできる喜びや、海外遠征で世界を肌で感じた時の「今の自分じゃだめだ、もっと練習しよう」という気持ちが、あきらめずに前に進む力になったと思います。でも一番は、一緒にずっと頑張ってきた仲間がいたこと。頑張ろうと言いつけてくれたから、自分だけそこでやめるわけにはいかないという気持ちになりました。チームスポーツの素晴らしさだと思います。

「唯一無二」の舞台

山下 実際にオリンピックを経験して気付いたことはありますか？

林 今大会、日本は後半に持ち味を発揮することが出来たのですが、序盤は苦戦が続きました。試合を重ねるごとに調子が良くなっていったというのがありますが、日本は海外遠征もできずに試合1週間前にロンドン入りという形だったので、海外遠征を重ねていたほかの国に比べると準備不足だったと感じる部分もあります。もっと環境が整っていれば、初めから日本らしいプレーができたのかもしれない。残念ながら、日本におけるホッケーに関わる環境はまだ充実しているとは言えません。マイナー競技の悩みを痛感しました。

試合を通して感じたのは、海外の選手はそれぞれが平均的に高い技術を持ち、日本にない力強さを持っていること。でも、日本はその分チーム力があるので、組織として戦えば海外チームと互角に戦

2012年夏に開催されたロンドンオリンピックでは、たくさんの選手が私たちに感動を与えてくれました。立命館の校友や学生も選手の一員として出場し、ひたむきに目標に向き合う姿から夢を持つことの強さを示してくれました。ロンドンオリンピック女子ホッケー競技に出場した日本代表選手、校友の林なぎささんに、立命館大学ホッケー部(女子)の後輩である現役学生選手がインタビューし、オリンピックという夢の舞台の経験を通して得たものについて伺いました。

える力を持っていると確信しました。

一谷 オリンピックとこれまでに出場された他の国際大会との間に違いはありましたか？

林 オリンピックは、世間の注目度が他の国際大会と比較にならないほど高いというのを改めて感じました。ホッケーにもワールドカップはありますが、日本ではほとんど知られていません。でも、オリンピックとなると周りからの注目度ががらりと変わり、メディアに取り上げられる機会が格段に増えました。

出場に際してはたくさんの励ましをいただきました。こんなに多くの方に応援してもらって競技ができることは大きな喜びでした。「これだけ注目してもらうのだから悪い結果じゃ帰れないぞ」というプレッシャーもありましたが、やっぱりうれしいという気持ちの方がはるかに強かったですね。みなさんの励ましはチームの支えになりました。

山下 私も今年出場したU-21では、3位までに入ればワールドカップに出場できるということもあり、自分がそのような責任のある位置にいるということに大きなプレッシャーを感じました。いつもいろんな人に応援してもらっていると感じますが、特に両親にはたくさん負担をかけてきたので、結果を残すことで恩返しになればという気持ちでやっています。



山下留依さん

リオへの切符を左右する2年後

一谷 オリンピックという舞台を経験した林選手のこれからの目標を教えてください。

林 ディフェンスとして体を張った力強いプレーでゴールを守る、そんなプレーをすることでチームを盛り上げられるような存在感のあるプレーヤーになりたいと思っています。また、どんな試合でも一定の力を出せる、仲間に信頼されるプレーヤーになりたいですね。

次のリオデジャネイロオリンピックからは制度が変わるため、オリンピック出場の切符を獲得できる最初のチャンスは2年後のアジア大会になってきます。そこで優勝すればオリンピック出場が決定しますが、それを逃すと後が厳しくなる。なので、今一番の目標は2年後です。やるからには、やはり優勝を目指して。

立命館の後輩の活躍は特に気にしています。リーグ戦などで立命館が勝ったと聞くとうれしくなります。立命館は他のホッケーの強豪大学と違って、選手自らが考えて練習を進めていかなければならない。フルタイムの指導者がいないという環境は選手にとって大変なものです。自分がそうであったように、今の学生の皆さんもきっと悩まれるのだらうと思います。だからこそ立命館の後輩には頑張ってもらいたい。オリンピックという素晴らしい舞台を、お二人もぜひ味わってください。同じ立命館から全日本代表に入って頑張る後輩たちが出てきてくれると私もうれしいです。

一谷、山下 ありがとうございます。これからはがんばってください。
林 校友の皆さん、オリンピックでは応援ありがとうございました。これからも日本の、そして立命館のホッケーをよろしくおねがいします。

Profile

ロンドンオリンピックホッケー女子日本代表選手

林 なぎさ さん(’09産社)(写真中央)
ソニーHC BRAVIA Ladies所属。ポジションDF。大学時代はホッケー部(女子)のキャプテンを務め、2005年のインカレ優勝に貢献。2005年、2006年全日本ジュニア代表。2009年～全日本シニア代表。ロンドンオリンピックでは、日本代表『さくらジャパン』の守備の要として対中国戦での無失点に貢献した(日本最終順位9位)。

.....

一谷奈歩 さん(産社1回生)(写真左)
立命館大学ホッケー部(女子)所属。ポジションMF。

山下留依 さん(産社1回生)(写真右)
立命館大学ホッケー部(女子)所属。ポジションDF。

ともに立命館高校出身。高校3年時の2011年、U-18アジアカップに出場し優勝。2012年、U-21アジアカップに出場し、日本はフェアプレー賞を受賞した。立命館大学ホッケー部(女子)は2012年の第40回西日本学生ホッケー選手権大会で優勝。





北海道の自然と暮らしを守りたい

北海道環境生活部環境局エゾシカ対策室参事

吉田 恵子 さん（78文）

エゾシカの急増とその影響

北海道にのみ生息するニホンシカの亜種エゾシカ。近年、このエゾシカの急増による様々な被害が北海道で社会問題となっている。本来、森の動物であるエゾシカが人里に姿を現し、人間との軋轢が生じているだけでなく、動植物の生息にも影響を与えているのだ。人間とエゾシカが共生していくために、そして本来の生態系を守っていくために、北海道環境生活部環境局エゾシカ対策室参事の吉田恵子さんは、問題の解決を目指して第一線で対策に取り組んでいる。

吉田 「森の幸」であるエゾシカは、アイヌの人たちにとって「海の幸のサケ」とともに大切な食糧であり、衣服の材料や生活用具としても活用されてきました。明治初頭には、北海道開拓使が貴重な外貨獲得の手段としてエゾシカの缶詰を製造していたこともあったそうです。明治時代には乱獲と豪雪による大量餓死が重なり、絶滅寸前まで激減しましたが、その後の保護政策や開拓による農地の拡大等によりエゾシカの生息数は増加の一途をたどり、現在の生息数は約64万頭と推定されています。

増加の要因として、4～5年で生息数が倍増するというエゾシカの旺盛な繁殖力やエゾシカの餌場となる農地の拡大、天敵であるオオカミの絶滅や温暖化による豪雪の減少、ハンターの減少などがあげられ、エゾシカを原因とする様々な問題を引き起こしています。

2011年度の鳥獣被害額約72億円のうち、エゾシカによる被害額は約64億円と全体の9割を占め、エゾシカとの接触による交通事故は、前年度から約600件増加の2306件に急増しています。軽微な事故で警察に報告されていないものも多く、実際はこの倍近い発生件数があると推定されています。さらに、世界自然遺産・知床半島や釧路湿原などの自然公園での樹皮剥ぎや、希少植物群落の食害も深刻です。樹皮剥ぎを受けた樹木は立ち枯れし、野鳥が営巣に使うササやぶなどは食べ尽くされ、産卵場所を失った野鳥や虫などが姿を消すことにより生態系の多様性が失われ、景観が一変しています。

当初、道東地域に限定されていた被害は今や全道に広がってきています。

大切な生き物だからこそ 適正な数の管理を

このような環境では、エゾシカも人間も不幸なことになる。2010年10月、道では被害防止に向けて、3年間の緊急対策の実施を決定。昨年6月、吉田さんが参事を務めるエゾシカ対策室が立ち上げられた。「捕獲」と「有効活用」の両輪で進める対策は、少しずつその効果をあらわし始めている。

吉田 野生動物は適正密度以上に増えると害獣になります。人間とエゾシカが共生できる環境を取り戻すためには、増えすぎたエゾシカを捕獲して適正数が維持されるよう管



理するとともに、捕獲したエゾシカを貴重な資源として利用する有効活用の取り組みが必要です。

これまで猟期の延長や市町村が行なう許可捕獲の支援などさまざまな捕獲対策を講じた結果、2011年度のエゾシカの捕獲数は13万5千頭を超え、急上昇を続けていた生息数は前年度の約65万頭から約64万頭へと漸減しました。しかし、それでもまだ多すぎる状態です。

エゾシカは学習能力が高く、一定数を継続して捕獲するのが難しい動物ですが、農林業被害などを防止するには今後5年間で38万頭まで減らす必要があることから、緊急対策期間の延長を視野に捕獲対策を継続することとしています。

「今までシカが住んでいたところに勝手に人間が入ってきたのに、人間の都合でシカを殺すなどもってのほか。」という批判もしばしば受けます。生物の命を調整するなどというのは人間のおごりだという意見も理解できますし、大変心苦しい思いもあります。けれども、野生動物は自分で出生数をコントロールすることはできません。人間が個体

数をコントロールしなければ、農業被害も植生破壊も防げないのです。

エゾシカは、道民にとって身近で大切な生き物。野生のエゾシカの美しい姿は国内外の観光客にも大人気です。エゾシカ猟は道外ハンターの憧れであり、狩猟時期には年間2500人ものハンターが来道します。野生動物の命をいただくからには、その個体をできるだけ有効活用する。「エゾシカ=害獣」から、「北海道固有の大切な資源=益獣」となるように付加価値を高めていく。それが私たちにできる「命への供養」だと考えています。

道では、道民にエゾシカ肉を食べてもらえるよう、毎月第4火曜日を「シカの日」に制定し、シカ肉販売店やエゾシカ料理を提供する店舗を登録・PRする制度を設けています。昨年はエゾシカ肉の魅力をもっと知ってもらえるよう、「エゾシカ肉ひろめ隊」による全道キャラバンや料理教室、レシピ集の作成やエゾシカ料理コンテストのほか、さっぽろ雪まつりでは、札幌市内のレストランやホテルとタイアップして観光客にエゾシカ料理を食べていた

だく機会を設けるなどの取り組みを行ないました。この結果、道内でエゾシカ料理を扱うレストランは着実に増えており、野生動物を食べることへの道民の抵抗感も薄らいできていますと実感しています。

シカ肉は欧米では「ジビエ」と呼ばれ、高級食材としてとても人気があります。首都圏の有名ホテルでエゾシカ肉を使ってもらえるよう働きかけた結果、六本木ヒルズのホテルレストランの今冬のクリスマスディナーに採用されました。現在、ランチメニューとしても提供しているので、首都圏在住の同窓生の皆さんにも、ぜひ美味しいエゾシカ料理を味わっていただきたいですね。

きちんと処理されたエゾシカ肉はとても美味しいのです。高タンパク、低カロリーで、鉄分は牛肉の4倍と栄養豊富。狩猟期にのみ出回る「旬」を持つ食材でもあります。獲れる量や出回る時期に限りがあることから、家畜肉のウシやブタ、トリ、ヒツジと違ってメインの肉になることはありませんが、これらに次ぐ「第5の肉」としてご家庭でも気軽に食べていただけるよう、エゾシカ肉の魅力や調理方法をこれからもPRしていく予定です。

エゾシカ肉を使ったペットフードの開発にも力を入れています。食用に改良された家畜と違って、エゾシカは食用となる割合が3割程度と少ないのですが、ペットフードにすると、骨や皮なども有効活用できます。ササなどの植物



で育ったエゾシカの肉はアレルギーが少なく、栄養バランスも良いことから、ペットの健康管理の点からも有望視されており、道内でも少しずつ広がりを見せています。

食べることが北海道の自然環境や私たちの暮らしを守ることにつながる。このことを道民の皆様に丁寧に伝えていきたいと思っています。

続けることで 生まれ変わるものがある

今年、道職員としての勤続年数が30年を超えた吉田さん。この間には様々な業務を経験し、その度に求められる仕事を全うしてキャリアアップを果たしてきた。これまでの経験から築いたその仕事観とはどんなものなのか、吉田さんに伺った。

吉田 卒業時は大阪の会社に就職が決まっていたのですが、両親の願いで北海道に戻りました。当時はオイルショックの後で、大卒女性の求人がほとんどない時代。旭川の実家に戻ってアルバイトをしながら就職活動をするうちに、北海道で働くなら公務員になるしかないと思い、国税専門官と道職員の試験を受験しました。どちらに進むか迷ったのですが、いろんな業務を経験できるところに魅力を感じて道職員を選びました。当時は圧倒的に男社会でしたが、私は学生時代にアメリカンフットボール部のマネージャーをしていたこともあってか、男性の中で仕事をしていくことにあまり抵抗はありませんでした(笑)。

この間、税務を振り出しに、消費者行政や国際交流、地域活性化、デザイン振興、食や観光のブランド化、環境対策など、本当に多くの仕事を経験させていただきました。新設の組織の一員として成果を求められることも多く、プレッシャーを感じつつもその時々業務を楽し

んできました。新しい分野へのチャレンジは、自分の引き出しを増やす機会にもなるのでごくうれしい。道庁はスペシャリストよりゼネラリストが求められる職場です。そのような環境で育てられてきた私は、職員である限りいろんな仕事を経験したいと思っていますし、実際にそのような機会を与えてもらえたことにとても感謝しています。

私自身、キャリア形成として明確な目標があったわけではありません。ただ、男社会の中で働く以上、女性であることを言い訳にしないこと、自分に与えられた環境の中で最善を尽くすことを心がけてきました。大学時代を道外で過ごした経験から、北海道や道民を客観的に見られるようになる一方、北海道への愛着や誇りが深まりました。「大好きな北海道のために少しでも役立てたら」という思いで精一杯やってきたことが、現在の自分のポジションにつながってきたのかもしれない。

勤続30年というとても長い期間のように聞こえるかもしれませんが、その時々仕事を積み重ねてきたらあっという間に30年が経っていたという感覚です。後輩の皆さんも、この仕事は自分に向いていない、辛い、辞めたいと思うことがたくさんあると思います。けれども、続けていくことで生まれ変わるものや、ステップアップできることもあるので、とにかくやり続けてほしい。自分で納得できるまでチャレンジしてほしいですね。

大学は社会人として巣立つ自分の基礎を育ててくれた場所です。「学生さん」を大切に京都で過ごした学生生活では、かけがえのない友人、知人たちとの出会いがありました。

アメリカンフットボール部のマネージャーの時には、慣れない業務にへこむ私を当時の平井コーチや先輩、OB諸兄が叱りつつも、応援してくださいました。団体生活を通じて粘り強さや忍耐力、まっとうな社会観を育んでもらった気がします。

私が社会人になった頃は、立命館の間での知名度は今ほど高くはありませんでした。今、各方面で立命館の評価が高まっているのを見ると隔世の感があります。しかし

それも、同窓の仲間たちがこれまで努力して、立命館への信頼を築いてきた結果であり、当時の仲間たちが今、頼もしい姿になって社会で活躍している姿を見るにつけ、学生時代に厳しく鍛えられた経験が私たちの血となり肉となっているのだと思わずにいられません。

Profile



Keiko Yoshida

- 1955年 北海道旭川市生まれ
- 1974年 立命館大学文学部日本文学科 入学
アメリカンフットボール部マネージャーとして、主務活動や合宿での部員たちの食事づくり、活動資金集めに汗を流す。
- 1978年 同 卒業
- 1982年 北海道庁入庁
総務部人事課主査、知事室国際交流課係長、総合政策部地域調整課主査、経済部生活産業デザイン係長などを経たのち
- 2000年 環境生活部生活振興課課長補佐
農政部道産食品安全室主幹、経済部観光のくにつくり推進局主幹などを経て
- 2008年 環境生活部環境保全課参事
- 2009年 環境生活部環境計画担当課長
- 2011年 環境生活部エゾシカ対策室参事
現在に至る

2012年度立命館大学校友会東日本大震災復興支援事業

「東北応援ツアー」 レポート

子どものいない学校を見て…

広報委員長 中村和歳 さん('61文)

バスはいわき市豊間地区に入る。岩陰に「津守神社」があり、その前を通過した直後に海岸の町が眼前に広がった。その時「ここが、私の家があった敷地です」と解説が。今回のツアーの目的に賛同して被災地の案内を申し出てくださった『関西県外避難者の会 福島フォーラム』遠藤雅彦さん('06経済)の声だった。かつて同地区の海岸は美しい海水浴場だったが、あの3月11日の津波により、防波堤は崩れ、海岸線は70cm地盤沈下した。家屋は押し流され、今は家が立ち並んでいた跡を示すコンクリートの土台だけが残る。当時の景色はもうない。

バスの車窓から見えるのは、遠藤君の家の門柱と屋敷跡だけだ。むごい、恐怖、恐ろしさが襲う。さらにバスは進み、村の南外れにある豊間中学校跡に着いた。校舎、校庭には、生徒たちの歓声はない。学校には、あの時以来、主役の子どもたちがいない。今、グラウンドにはガレキが積み上げられ、校舎の窓や塀は壊れたまま残る。村がなくなれば、学ぶ生徒たちもいない。あの故郷が廃村状態だ。大震災から17カ月が経つ。村の復興は全く進んでいない。

国は、村の跡地を緑地帯にするという。住民には高台への移転を提案するが、地権者との話がまとまらない。住民は日々不安な気持ちで過ごしているという。この地区は、3重の被害に遭っ



ツアーに参加し、現地の校友と交流した仲間たち

立命館大学校友会では、東日本大震災復興支援事業として、震災被災地の活性化に貢献することを目的とした『東北応援ツアー』を10月13～14日、27～28日、岩手、宮城、福島の3県で開催いたしました。ツアーは、岩手県コース、宮城県コース、福島県・スパリゾートハワイアンズコース、福島県・会津東山温泉コースの四つのコースで実施され、総計116名の参加者が、被災された校友との触れあいを通して東日本大震災について学びました。今回の震災関連記事では、同ツアーに参加した校友会広報委員による体験レポートを掲載いたします。

10月13～14日
福島県・スパリゾート
ハワイアンズコース参加

ている。地震、津波、そして原子力発電所事故による被害だ。故郷をなくし、友と離れ、共に遊んだ学校もない子供たちの将来の不安定さに、どう責任を取るのだ。

「この大震災から何が身を守ったか」の質問に、遠藤君は「避難を決断できるように教えてくれた教育。地震と津波についての知識。避難準備を優先した行動。そして『何かあったら遠くへ逃げなさい』という、亡くなった祖母の言葉」と言い切る。

今回のコースを選んで多くを学んだ。1945年の広島、長崎の被爆を経験した日本が、66年後に再び原発被害で故郷をなくす国民を作るとは、あの悲惨な戦争、特に被爆体験から何も学んでいないのか。その後の度重なる大震災の教訓がどこに消えてしまったのか。現地の校友の「今ここで生活することは、日々闘いだ」と、そして「この東北の被災地を忘れないでください」と絞り出す訴えが心に突き刺さった。

スパリゾートハワイアンズ下山田敏博総支配人から、震災から現在までの再建活動の詳細を学び、同施設の被害と復興の努力、フラガール達の全国研修ツアーとその成果を知った。ここ関西での毎日の普通の生活は、決して当たり前ものではないことを痛感した。



学ぶ生徒たちがいなくなった学校と校庭



震災からおよそ4カ月後に再開を果たしたアクアマリンふくしま

復興の光、ガレキの山今なお…

10月27～28日
宮城県コース参加

広報委員 高橋英子 さん('78産社)

何事もなかったような穏やかな南三陸の波。バスツアーのガイドさんは、「こうして見るとほんと、何事もなかったように見えます」と再三つぶやく。が、点在する車窓からみるガレキの山々は、まざれもなく甚大な被害をもたらした東日本大震災の爪あとだ。南三陸町の防災庁舎。がらんとした一帯に鉄骨だけになった庁舎が残る。「高台に避難してください」という防災無線の放送が、繰り返し行なわれた三階建ての庁舎だ。屋上より2m上まで津波が襲い、庁舎内の職員はいまだ20名以上が行方不明といわれている。献花の前で手を合わせる。テレビや新聞報道で目に焼きついた光景を前にして、ここに来るまでに1年7カ月が過ぎたのだと改めて思う。

今回の『東北応援ツアー』宮城県コースに参加したのは、全国からの31名。遠くは鹿児島から、20代から70代まで。それぞれに参加の熱い思いを語りながら、ツアーはスタートした。仙台駅、仙台空港、松島遊覧、南三陸、石巻を2日間で巡り、石巻の「木の屋石巻水産」社長・木村長努さん('77経済)や、名取のかまぼこ工房「ささ圭」社長夫妻の佐々木圭亮さん('77産社)・靖子さん('76文)ら、震災にあわれた校友に直接お話を伺う時間をいただいた。過酷で想像を絶するような、途方にくれるような体験をされたであろう先輩方が、暖かくこぼれるような笑みで迎えてくださったことに感謝。



南三陸「復興市」の新名物「オクトパス」



こぼれるような笑顔で迎えてくださった、ささ圭・佐々木先輩と

懇親会の宿は、松島の「一の坊」。県内から、下村泰雄宮城県校友会会長はじめ11名の先輩方も参加。支援の形、補助の格差、わたし達にいま



鉄骨だけの防災庁舎

出来ること…。たくさんの課題が見えた交流の時間だった。参加者の女性陣年長組6人で、「学生時代の合宿みたいだね」と笑いながら露天風呂で満月を見上げたのも思い出。

ツアー2日目は、偶然にも「第30回社の都全日本大学女子駅伝」の開催日。母校の連覇という吉報で無事、ツアーは終了となった。松島の瑞巖寺では、津波が押し寄せた塩害で、参道の並木の半分が伐採されていた。南三陸の“復興市”では、地元の特産物屋台に舌鼓。のりなどの特産物をお土産に買う。地元で買い物をするだけで、お役に立てませんが…。

帰路の空港に向かう列車で、隣合わせになった見知らぬご婦人が「遠くからお見えになりましたか？震災のときは、いろいろとありがとうございました」と声を残して名取で降車された。風化させないで語り継ぐことの大切さを痛いほど感じた瞬間だった。

ツアー実施内容

岩手県コース 10月13～14日
釜石地区～大槌地区～平泉中尊寺などを巡るコース

宮城県コース 10月27～28日
仙台松島遊覧船～南三陸町復興市～石巻地区などを巡るコース

福島県・スパリゾートハワイアンズコース 10月13～14日
いわき市沿岸地区～アクアマリンふくしま～いわき・ら・ら・ミュウなどを巡るコース

福島県・会津東山温泉コース 10月27～28日
会津活・活自然村～会津鶴ヶ城～渋川川屋などを巡るコース

立命館大学校友会東日本大震災義援金について

2011年3月24日～2012年11月30日に以下の皆様方から義援金をお寄せいただきました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

● 個人(卒業年・50音順) ※敬称略



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

※卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

● 個人(会合等参加者)

2011年度幹事会出席者(179名)
2011年度関西エリア新校友歓迎会参加者(145名)
2011年度関東エリア新校友歓迎会参加者(175名)
2011年度東海エリア新校友歓迎会参加者(145名)
「オール立命館校友大会2011in京都」参加者(1343名)
「オール立命館校友大会2011in京都」広告協賛協力者(34名)
卒業50周年記念祝賀会参加者(13名)
2012年度幹事会出席者(31名)
2012年関東エリア新校友歓迎会参加者(153名)
2012年東海エリア新校友歓迎会参加者(126名)
「オール立命館校友大会2012in新潟」参加者(1150名)

● 団体・グループ・企業(50音順)

愛知県校友会	北九州校友会	住友電設R会	南海立命会
秋田県校友会	岐阜県校友会	成学社立命会	新潟県校友会
尼崎市役所比叡会	機友会兵庫支部	全国行政書士立命会	西宮市役所立命会
石川県校友会	京都校友会	体育会硬式庭球部OB会	株式会社バチ・ホリック京都
市川会	経営学部社会人学生同窓会	体育会射撃部OB会	兵庫県校友会
宇部小野田校友会	軽音楽部OB会	高槻島本校校友会	兵庫県校友会西宮支部
ウリ同窓会	高知県校友会	千葉県校友会	広島県校友会
愛媛県校友会	香立会(建設会香川県支部)	敦賀立命会	広島県東部校友会
遠藤晃々ゼミOB会	建立会(建設会大阪支部)	東京校友会	福井県校友会
応化会	しろ会	栃木県校友会	福岡県校友会
大阪校友会	ジーンズショップカラカラ	鳥取県東部校友会	法学部同窓会
岡山県校友会	静岡県校友会	土木47会	三重県校友会
香川県校友会	写真研究会OB会	富山県校友会	山口県校友会
鹿児島県校友会	上海校友会	奈良県校友会	2011年度オール立命館校友大会協賛金協力102団体
技術士会	スポーツフェロー	奈良県北部校友会(立命若草会)	

合計 12,522,271円 2012年11月30日現在
 (個人 4,116名 7,733,145円)
 (団体・グループ 175件 4,789,126円)

義援金募集

被災された校友の方々に少しでもお役立ていただくために、引き続き、全国の校友の皆様を対象に、義援金を募集しております。ひとりでも多くの皆様の温かなご支援・ご協力をお待ちしております。

■ 受付方法

募集の期間や口数・金額等は定めておりません。

<個人>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、氏名、卒業年、学部名を記入(入力)してください。

例:「リツメイ タロウ S56 ケイザイ」

学部名の記入(入力)は、以下のとおりとしてください。

法学部=ホウ	経済学部=ケイザイ
経営学部=ケイエイ	産業社会学部=サン
国際関係学部=コク	文学部=ブン
政策科学部=セイ	映像=エイゾウ
理工学部=リコウ	情報理工学部=ジョウリ
生命科学部=セイメイ	

<団体・グループ>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、団体・グループ名を記入(入力)してください。

■ 芳名の公表

ご協力いただいた個人、団体・グループについては、芳名を、会報「りつめい」に掲載させていただきます。

匿名を希望される場合は、振込み手続きの際、振込み人名の欄に、氏名とともに「トクメイ」と記入(入力)してください。

例:「リツメイ タロウ トクメイ」

なお、この義援金募集に関わって、本会では領収証等の発行は行いません。予めご了承ください。
 ご不明な点がございましたら、立命館大学校友会事務局(フリーダイヤル0120-252-094)までご連絡ください。

■ 受付口座は以下の4つです

【受付口座1】

京都銀行:二条駅前支店
 (普)1020251 (銀行コード0158:店番コード129)

口座名義 立命館大学校友会義援金口

同行本・支店間での振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

【受付口座2】

京都中央信用金庫:三条支店
 (普)1180144 (銀行コード1611:店番コード006)

口座名義 立命館大学校友会義援金口

同金庫本・支店間での窓口利用振込の場合「義援金の振込である旨」お申し出いただくことにより手数料が無料となります。但し、ATM利用の場合は手数料が発生します。

【受付口座3】

みずほ銀行:京都中央支店
 (普)2361818 (銀行コード0001:店番コード473)

口座名義 立命館大学校友会義援金口

同行本支店間・みずほコーポレート銀行本支店からの振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

【受付口座4】

ゆうちょ銀行口座間の振替、窓口備え付けの「払込取扱票」をご利用の場合は以下へお願いいたします。

口座記号・口座番号 00900-1-288651

口座名義(加入者名) 立命館大学校友会

※誠に恐れ入りますが、振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

他行からの振込の場合は以下へお願いいたします。

ゆうちょ銀行:〇九九店(当)0288651

(銀行コード:9900 店番コード:099)

口座名義 立命館大学校友会

※誠に恐れ入りますが、振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

R オール立命館校友大会 2012 in 新潟

10月6日(土)、新潟市の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターで「オール立命館校友大会 2012 in 新潟」が開催された。開催地・新潟をはじめ、長野、山梨、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川の各県校友会と立命館大学校友会が実行委員会を構成。主催各県の校友を中心に一般参加者も含めて、全国各地から総勢 1600 名が参加した。



トークセッション

開催記念企画「『夢』トークセッション」は、地元新潟出身の三味線プレイヤー史佳さん('97 理工)と高橋竹山会 44 名による迫力のライブ演奏で幕開け。続いて行なわれたトークセッションでは、スポーツアンカーの近藤祐司さん('96 経済)をコーディネーターに迎え、マラソンランナーの千葉真子さん('95 立命館宇治高)、オリンピックメダリスト(シンクロナイズドスイミング)の武田美保さん('99 産社)、元NFLチアリーダーの小島智子さん('00 経済)の3名の立命館出身女性トップアスリートがパネリストとして出演し、「夢をかなえるチカラ」をテーマに、夢をもつことで自らの可能性を広げ世界に羽ばたいた、それぞれの「夢の軌跡」について語った。



■ 史佳さんと竹山会による庄巻のオープニングアクト



■ 山中会長(写真中央)とトークセッションのゲストたち



■ (写真左より)千葉真子さん、武田美保さん、小島智子さん

■ コーディネーターの近藤祐司さんを迎え「夢」トーク

公式二次会・女子夜会

レセプションの盛り上がりをもままに、さらに交流を深めたい参加者は「公式二次会」、そして女性同士でゆっくり楽しみたい参加者は女性限定の「女子夜会」へ。公式二次会の参加者は、新潟の銘酒とともに古町芸妓の華やかな舞を堪能。女子夜会の参加者は、可憐なスイーツとともに渋谷さんのシャンソンライブでロマンチックな時間を楽しんでいた。



■ 夜はこれから!



■ 古町芸妓が出演



■ 参加者は女性オンリー



■ スイーツの前に、女性同士の会話に花が咲く

レセプション 総会パート/懇親会パート

佐野哲夫実行委員長('82 経済)の開会宣言で、2012 年度立命館大学校友会総会が開会。トークセッションから引き続き、レセプションでも(株)新潟テレビ 21 アナウンサーの富高由喜さん('99 法)が総会司会を務めた。立命館大学応援団のリードによる校歌斉唱のあと、山中諄校友会会長('65 経済)から「今大会は、のべ 1500 名を超える校友・市民の皆様のご参加のもと盛大に開催することができました。校友会では、このほど『未来人財育成基金』を創設し、母校・後輩学生を支える支援者となる新たなサイクルを通して、今後、皆様に息の長いご支援をお願いしてまいります。今回の大会が学園の発展のために有意義な機会となることを期待しております」と挨拶があり、川口清史立命館総長の来賓祝辞に続き、山中会長が議長となって総会議事が執り行なわれ、3 議案が報告された。

その後、シャンソン歌手の渋谷文太郎さん('98 政策)による『歌のアペリティフ』から懇親会パートへ。関東甲信越 10 都県の全校友会会長が登壇して威勢よく鏡開きが行なわれ、長田豊臣立命館理事長の乾杯発声でにぎやかに歓談が始まった。新潟県産の食材をふだんに使用した料理や地酒が取り揃えられ、利き酒ができる特設ブースも設けられるなど、新潟らしさ満載の雰囲気参加者は興味深げに楽しんでいた。

終盤、新潟県校友の江川功さん('81 経営) 作詞作曲の『立命館アニバーサリー』シングアウトに、新潟県校友会や会場の有志が登壇し、学生時代の思い出にあふれた懐かしい情景を歌った一曲に、会場の盛り上がりは最高潮に達した。そして、今大会主催の関東甲信越 10 都県校友会より、来年度の京都大会を主催する校友会代表者へ大会旗が引き継がれ、参加者全員で応援歌を斉唱ののち、飛鳥井雅和校友会副会長('64 法)の中締めの挨拶で大盛況のうちに閉幕した。

会場外では立命館 CLUB や災害復興支援室の取り組みなどを紹介する展示もあり、熱心に見入る校友や一般の参加者の姿があった。また、会場正面玄関にはキャンパスの現在・過去の風景を撮影した写真を集めたウェルカムボードが配置され、懐かしい風景を探す校友の姿も多く見かけられた。

2013 年度の校友大会は、2013 年 10 月 26 日(土)、ホテルグランヴィア京都で開催される予定。



■ 会場が一体となった『立命館アニバーサリー』シングアウト



■ 「乾杯!」で懇親会がスタート



■ 大好評を博した新潟の新鮮な海の幸



■ 川口総長



■ 山中会長



■ 小野新潟県校友会会長



■ 先輩・後輩が交流を深めた



■ 盛り上がる会場



■ 応援団の力強い演舞



■ 佐野実行委員長



■ 富高さん



■ 渋谷さん



■ 主催 10 都県の校友会会長が鏡開き



■ 来年度の大会へ校友会旗が引き継がれた



都道府県校友会

- 9/1 広島県校友会設立60周年記念大会 (180名・ホテルグランヴィア広島)
- 9/1 熊本県校友会総会 (50名・熊本ホテルキャッスル)
- 9/23 福島県校友会総会 (30名・郡山ビューホテルアネックス)
- 9/29 北九州校友会 「グランドゼネレーションパーティー 2012」 (35名・リーガロイヤルホテル小倉)
- 9/30 福井県校友会校友の集い (101名・ユアーズホテルフクイ)
- 10/6 茨城県校友会総会 (22名・朱鷺メッセ)
- 10/6 栃木県校友会総会 (15名・朱鷺メッセ)
- 10/6 群馬県校友会総会 (40名・朱鷺メッセ)
- 10/6 埼玉県校友会総会 (35名・朱鷺メッセ)
- 10/6 千葉県校友会総会 (47名・朱鷺メッセ)
- 10/6 新潟県校友会総会 (324名・朱鷺メッセ)
- 10/6 山梨県校友会総会 (50名・朱鷺メッセ)
- 10/6 長野県校友会総会 (102名・朱鷺メッセ)
- 10/20 九州・沖縄ブロックBBQ大会 (48名・えとうポートハウス)
- 10/28 杜の都全日本大学女子駅伝 応援と祝勝・懇親パーティー (70名・仙台市内/KKRホテル仙台)
- 11/2 山口県校友会総会 (60名・ホテル松政)
- 11/3 富山県校友会総会 (52名・オックスカナルパークホテル富山)
- 11/3 島根県校友会総会 (41名・サンラポーむらくも)
- 11/3 福岡県校友会総会 (220名・ソラリア西鉄ホテル)
- 11/9 和歌山県校友会総会 (70名・ホテルグランヴィア和歌山)
- 11/9 鳥取県東部校友会総会 (50名・ホテルモナーク鳥取)
- 11/10 兵庫県校友会総会 (100名・生田神社会館)



熊本県校友会



福島県校友会



福井県校友会



グランドゼネレーションパーティー



九州・沖縄ブロックBBQ大会



富山県校友会



兵庫県校友会

- 11/10 宇部小野田校友会総会 (26名・ホテル河長)
- 11/10 鹿児島県校友会総会 (100名・プラザN)
- 11/11 京都校友会総会 (120名・衣笠キャンパス末川記念会館)
- 11/17 石川県校友会総会 (108名・金沢ニューグランドホテル)
- 11/17 愛知県校友会総会 (320名・名鉄グランドホテル)
- 11/17 鳥取県西部校友会総会 (29名・米子全日空ホテル)
- 11/17 大分県校友会総会 (110名・大分センチュリーホテル)



京都校友会



石川県校友会

地域校友会

- 9/2 湘南クラブランチ会 (42名・鎌倉芸術会館1Fカフェレストランパウゼ)
- 9/9 三重県校友会松阪会設立総会 (40名・フレックスホテル)
- 9/27 宮崎県校友会都城支部総会 (15名・都城グリーンホテル)
- 9/28 福岡県校友会筑後会総会 (20名・久留米ホテルエスプリ)
- 10/20 奈良県校友会南和会総会 (30名・橿原観光ホテル)
- 10/21 大阪茨木立命会設立総会 (108名・茨木市役所南館9階茨木スカイレストラン)
- 10/27 高槻島本校校友会総会 (87名・たかつき京都ホテル)
- 11/9 北摂校友会総会 (56名・ホテルアイボリー)



奈良県校友会南和会



大阪茨木立命会

職域校友会

- 8/22 池田泉州銀行立命会総会 (81名・スイスホテル南海大阪)
- 8/25 立命館学園会計人会総会 (30名・京都ホテルオークラ)
- 9/14 立誓会(三重県庁職員OB会)総会 (20名・カフェ&レストランE-ma)



立命館学園会計人会



立誓会

- 9/20 Rits不動産ネットワーク総会 (60名・京都ホテルオークラ)
- 9/20 ダイワハウス大阪立命会 (26名・ホテルグランヴィア大阪)
- 9/30 公認会計士校友会総会 (21名・朱雀キャンパス)
- 11/1 尼崎市役所比叡会総会 (38名・都ホテルニューアルカイク)



Rits不動産ネットワーク



尼崎市役所比叡会

学部・学科校友会

- 9/8 機友会総会 (58名・BKCローム記念館)
- 9/8 奈良建設会総会 (46名・猿沢荘)
- 9/23 文学部英米文学同窓会総会 (33名・レストラン菊水)
- 9/29 理工学部土木工学科 昭和48年度入学同期会 (31名・京都タワーホテル)
- 10/11 立命土木40会 (41名・京都平安ホテル)
- 10/13 哲学同窓会総会 (40名・衣笠キャンパス)
- 10/19 愛知県衣笠会(建設会愛知県支部)総会 (67名・名鉄ニューグランドホテル)
- 10/26 岐阜県建設会総会 (31名・ホテルリソル岐阜)
- 10/27 建設会総会 (150名・京都タワーホテル)
- 11/10 経済学部同窓会講演会総会 (100名・朱雀キャンパス)
- 11/16 滋賀建設会総会 (35名・琵琶湖ホテル)
- 11/17 経営学部創設50周年記念式典祝賀会 (280名・ハイアットリージェンシー京都)



文学部英米文学同窓会



立命土木40会



岐阜県建設会



建設会

サークルOB・OG会

- 9/16 経営研究会同窓会 (21名・京都第2タワーホテル)
- 9/23 軽音楽部OB会 SUPER SESSION 2012 in KYOTO GION (70名・京都祇園ホテル)
- 10/27 合気道部創部50周年記念祝賀会 (200名・京都全日空ホテル)
- 10/27 ワンダーフォーゲルOB会 山小屋開設50周年記念行事 (130名・衣笠キャンパス)
- 11/17 証券研究会OB会総会 (32名・ハイアットリージェンシー京都)
- 11/17 広告研究会創部50周年記念OB会 (45名・リーガロイヤルホテル京都)



経営研究会同窓会



軽音楽部OB会



証券研究会OB会



広告研究会

その他の会

- 8/11 憲法研究会OB会総会 (11名・花伝)
- 8/25 立命館慶祥中学校・高等学校 2012ALL立命館交流パーティー in北海道 (1250名・高校棟前芝生広場)
- 9/9 新田村会・田村行政法ゼミOB会総会 (122名・衣笠キャンパス末川記念会館)
- 9/15 オーナーズプログラムOB・OG会 (20名・日比谷Bar)
- 10/23 等究会 (9名・くに荘)
- 11/8 ローターリー立命会例会 (34名・木乃婦)
- 11/10 文学部地理学科1973年入学生同窓会 (18名・アパホテル<京都駅前>)
- 11/20 Rits不動産ネットワーク&R・E(同志社) クローバー倶楽部合同例会 (100名・京都タワーホテル)
- 11/21 三四郎会 (34名・竹茂楼)



ALL立命館交流パーティー



新田村会



三四郎会

OKINAWA から沖縄へ。 学生時代に迎えた故郷・沖縄の復帰

比嘉武宏 さん ('78 法)

かつてアメリカの施政権下に置かれていた沖縄では、住民の暮らしは現在のように自由なものではなく、沖縄県民が本土に行く際には渡航ビザのような身分証明書の携行が求められました。そんな時代にあつて、沖縄の学生たちは本土の大学への進学を志望し、立命館にも沖縄から学生が数多く学びにやってきました。比嘉武宏さんもそのひとり。比嘉さんは進学のため故郷沖縄を離れましたが、京都で学生生活を過ごす間に沖縄の復帰を迎えたと言います。2012 年、沖縄返還 40 周年にちなんで、当時の沖縄の若者たちの思いを比嘉さんに伺いました。



子ども時代の“OKINAWA”

私が生まれた時、沖縄はすでにアメリカ施政権下にありました。映画で見えるような『ギブミー』の光景がまさに現実で、各地に基地が作られ、浦添市にある我が家の土地も金網が張られたキャンプの一部となりました。軍人ではなく民間のアメリカ人の集中居住地もあったのですが、あらゆるものが揃う居住地の暮らしはわたしたち沖縄人の暮らしとあまりにも大きな格差がありました。使用通貨はドル。周りには軍人さんがたくさんいて、ゴザ市（現・沖縄市）には黒人道路、白人道路というものもあったのです。いま振り返ると、まるっきり異国でした。成長するにつれて治外法権の不条理さを感じるようになり、高校生の頃には、基地は沖縄から出て行ってくれとシュプレヒコールをしたこともありました。

身分証明書携行の大学進学

沖縄の学生が本土の大学に進学するには身分証明書が必要で、本土へ行くということは私たちにとってちょっとした外国へ行くような気分でした。



沖縄を離れる際に必携だった身分証明書

ほとんどの同級生が東京での進学を希望しましたが、私は歴史を身近に感じながら学べる京都の立命館に決めました。京都の歴史に触れていると、自分の故郷の歴史にも強い関心を抱くようになりました。そして学生時代を本土で過ごしたことで、全国に意識が向くようになりました。

ある時、本土で出来た友達に「きみ、日本語がうまいなあ」と言われたこと

があります。沖縄は「外国」という発想だったのです。沖縄のことをあまり分かっていないんだと、少しショックでした。沖縄出身の先輩たちも同じことをよく言われたそうです。

入学後しばらくして沖縄は本土に復帰しました。復帰した時は、これからは日本国憲法の下で沖縄県民もアメリカと対等に認められるのではと期待が膨らみました。2 回生になって実家に戻る時には飛行機で帰れるようになっていて、移動時間が大幅に短くなったのも含めて本当にうれしかったですね。

沖縄から独自の発信を

復帰から 40 年が経って、沖縄と本土との差はほとんどないように思います。しかし経済的な面ではまだまだ沖縄は厳しい状況です。また、今でも治外法権が続いているかのように思うこともあります。沖縄は、日本の良い面も悪い面も持つ「日本の縮図」。これからの良いものは残し、新しいものは取り入れていきたい。かつての大交易時代のように、沖縄から独自の発信をしていけるようになればと思っています。

自由に、便利に、世界を行き来できる今の時代、沖縄の若者そして立命館の後輩たちにはどんどん世界に羽ばたいて、いろんなものを見てきてほしいですね。



ひが たけひろ
1953 年沖縄県浦添市生れ。1978 年立命館大学法学部卒業。卒業後、沖縄に戻り、飲食店経営や宝石商などを経て、浦添市議会議員に（現職）。趣味は空手。沖縄県校友会副会長。



広小路学舎で学んでいた頃。鴨川で

Profile



校友たちの後輩支援活動

～学生支援に取り組む能楽部 OB 会～

後輩の学生部員の支援に取り組み、学生時代に留まらない一生に通じる強いつながりを育む立命館大学能楽部 OB 会についてご紹介します。

立命館大学能楽部 OB 会は 1959 年、能楽部創立 30 周年にちなんで結成されました。設立当初 30 名程度だった会員は現在 300 名強となり、そのうち半分を平成卒校友が占めています。東京・東海・北陸・阪神・京滋・奈良の六つの支部のほか、「一声会（還暦以上の方の会）」「くれない会（女性だけの会）」や「月会」など有志による任意のグループがあり、各グループで定期的集まるだけでなく、年に 1 度の OB 大会や、京都観世会館で開催される 10 年に 1 度の記念大会など、大小の催しを開催して活発に活動しています。

同 OB 会の特徴は、「後輩学生の支援」を軸にした活動に熱心に取り組んでいるということ。OB 会員は能楽部の後援会員を兼ねており、OB 会の年会費の半額を後援会費として積み立て、それを学生部員が使用する能の敷舞台の作成や改修資金等に充てています。



OB たちの学生時代。合宿時の様子

る一方で、学生主体の催し「立命能」などには OB が協力するなど、日ごろから交流の機会を創出。そのほかにも、年に 2 回発行する機関誌『花修』を OB と学生が共同で制作・発行し、互いの今の活動状況を知る手立てとしています。これらの取り組みによって、OB と後輩学生とが互いを身近に感じ、在学中の 4 年間だけでなく卒業後も続く世代を越えた人間関係が育まれているのです。



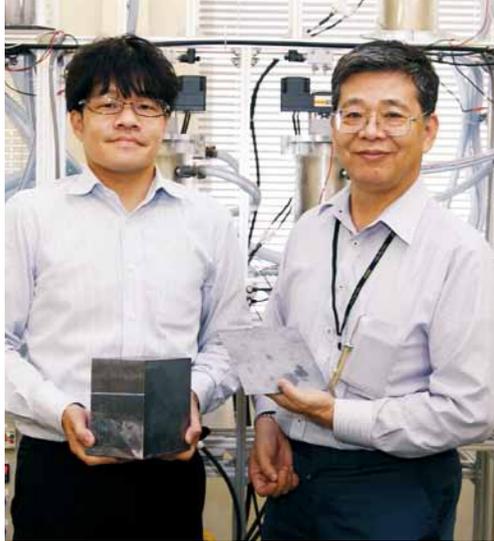
OB 会から寄贈された鏡松

このような OB 会とのつながりに支えられた立命館大学能楽部の学生部員は、稽古だけでなく普段の日常生活に至る礼儀作法の良さが広く認められています。

強いつながりは、大きな災害時にもその力を発揮しました。阪神大震災では有志が現地に直接支援に赴き、東日本大震災では東京支部が窓口となって会員の安否の確認に努め、OB 会が集めた義捐（えん）金を直接手渡しに行くなど、発生直後からの自発的な動きが数多く見られました。

現在 OB 会では、2019 年に迎える 90 周年記念大会の準備に着手し始めました。今後演目や出演者などを決定し、練習を重ねていきます。来年 5 月には、2012 年春に有志が復興した謡曲『泣不動』を能楽として復興上演しようと、プロ能楽師の講師を中心に取り組みを進めています。そして 6 月には「大会」として 50 回目を迎える OB 大会を開催の予定です。

「能を通して、出会うことのないはずの人と出会うことができ、世代が変わっても通じ合うことができる。その楽しさを伝え、後輩学生がのびのびと活動できるように支えていきたい」。この思いが能楽部の、ひいては能楽部 OB 会の活発化につながっています。



村田助教(左)と谷教授(右)

Junji Murata

PROFILE

2005年 大阪大学工学部応用自然科学科 卒業
2010年 大阪大学大学院工学研究科精密科学専攻
博士課程後期課程 修了

2007～2008年日本学術振興会特別研究員(DC1)、2010年4月より立命館大学理工学部機械工学科助教(現職)。

2011年度日本機械学会賞(論文)〔「ガラス研磨用エポキシ樹脂研磨パッドの開発」〕、精密工学会アフィリエイト(若手先導的会員)ほか受賞。博士(工学)。

●研究テーマ ガラス研磨用酸化セリウムの使用量削減技術の開発
エッチングを利用した太陽電池シリコンの切断技術の開発
触媒効果を利用した化学研磨法による半導体表面の超平滑化

Yasuhiro Tani

PROFILE

1976年 東京大学工学部機械工学科 卒業
1981年 東京大学大学院工学系研究科機械工学博士課程 修了

1981年東京大学生産技術研究所講師、1982年東京大学生産技術研究所助教授、1997年東京大学生産技術研究所教授、2006年4月より立命館大学理工学部教授(現職)。

2000年度、2004年度、2011年度に、日本機械学会賞(論文)を受賞。その他、工作機械技術振興財団論文賞を6回、砥粒加工学会論文賞など19件を受賞。工学博士。

●研究テーマ 機械加工工具のパーソナルファブリケーション技術に関する研究開発
新しい遊離砥粒研磨技術に関する研究開発
遊離砥粒研磨を代替するような固定砥粒工具に関する研究開発
高付加価値切断工具に関する研究開発
機械加工面の評価に関する研究開発 など

太陽光発電をもっと身近に

—太陽電池の大幅コスト削減を実現する新技術を開発—

理工学部 村田 順二 助教・谷 泰弘 教授研究グループ

震災以降、世間の関心が高まる再生可能エネルギー。なかでも太陽光発電は、クリーンな次世代エネルギーとして最も期待されるエネルギーの一つだ。しかし、発電に用いる太陽電池の製造にコストがかかり、既存の電力と比べて発電コストが高くつくことから、なかなか普及が進んでこなかった。そんな太陽光発電を私たちにもっと身近なものにする技術——太陽電池のコストの大幅削減を可能にする新技術を、理工学部の村田順二助教・谷泰弘教授研究グループが開発した。

太陽電池コスト増大の理由

太陽電池の発電のもととなるのは、シリコン結晶体「シリコンインゴット」の塊から薄く切り出されたシリコン基板。シリコン基板を切り出すには、ダイヤモンドの粒子をめっきによってピアノ線に固着させた電着ダイヤモンドワイヤを使った切断加工技術が急速に普及している。しかし、硬いダイヤモンドを使って機械的にガリガリと削り取るこの技術では、シリコンにダメージを与えてしまう、切断する際に生じる材料のロスとなる切断溝幅(カーフロス)が大きくなる、薄く切ることが難しいといった問題点があり、これらの問題が太陽電池のコストの増大につながってきた。

化学作用を用いた新技術「エッチング援用切断加工」

このほど村田助教・谷教授の研究グループが開発した新しい技術『エッチング援用切断加工』とは、薬液の化学作用による溶解(エッチング)を利用してシリコンを切断するというもの。フッ硝酸という薬液の中で、高速走行させた金属ワイヤを用いてシリコンインゴットを局所的に溶かしながら切断する。

この技術を利用すると、シリコンにダメージを与えず、切断溝幅を小さくして、薄くても割れにくいシリコン基板を切り出すことが可能になった。ダイヤモンドワイヤによる切断技術ではワイヤにかかる負荷が大きく、細いワイヤを使うと切れてしまうため、切った際の溝幅は100ミクロン(=0.1ミリ)が限界とされてきた。しかしエッチング援用切断加工では、ワイヤへの負荷が小さく、細いワイヤを使っても切れてしまうことがないため、100ミクロン以下の溝幅を実現することができる。研究では、すでに90ミクロン程度の実績が上げられている。「最終的な目標は60ミクロンの溝幅。つまり、現在限界とされている数値のおよそ半分程度まで

実現できるのではないかと考えています」と、グループの中心になって研究を進める村田助教は展望を語る。新しい技術では、材料のロスを抑えて一つのシリコンインゴットからよりたくさんの基板を切り出すことができるだけでなく、プロセスに費やす時間や、装置にかかる費用も軽減されるため、シリコン基板のコストを従来の半分程度にまで削減することができる。「切断性能面で多くのメリットが認められるだけでなく、コスト面からも大きなメリットが期待できるのです」。

技術の流出を防ぎ、日本のものづくりを活性化

学生時代に化学的作用による研磨技術の開発を行っていた村田助教に、化学的作用による加工に可能性を感じた谷教授が声をかけたのが研究の始まりだった。「ちょうど機械的な作用によらない新しい加工をやってみたいと思っていた時に、谷先生から新しい技術の開発にあたるように言われて。2011年の秋ごろから着手し、学生たちと試行錯誤を重ねながらこの技術にたどり着きました」。立命館大学と立命館大学発ベンチャー企業の(株)ツールバンク、そして(株)クリスタル光学とが共同で加工技術および装置開発を進めている。「近年、コストがかかるという理由から、日本から海外へ、ものづくりの現場がどんどん移っています。この技術がエネルギーへの一つの貢献となるだけでなく、日本の技術の海外への流出を防ぎ、日本のものづくりの発展への貢献にもなることを願っています」。

日本機械学会賞(論文)受賞 —レアアース使用ゼロの新しいガラス研磨

谷教授、村田助教らの研究グループは、研究論文『ガラス研磨用エポキシ樹脂研磨パッドの開発』において、日本機械学会「日本機械学会賞(論文)」*を受賞した。

この論文では、研磨に使われる工具の「研磨パッド」の材質を見直し、新たな研磨パッドの開発を行なって従来よりも高い研磨能率が得られることを証明。また、現在一般的に研磨材として使用されているレアアースの代替研磨材についても検討し、新しい組み合わせによってレアアースを使用せずに高効率の研磨が可能であることを実証している。

ガラスの精密研磨には、ウレタンパッドとレアアースである酸化セリウムとの組み合わせが一般的な研磨材となっているが、同研究グループが新しく開発したエポキシパッドと酸化セリウムを組み合わせると、従来の組み合わせの約2倍の研磨能率が得られた。さらに、エポキシパッドとレアアースでない酸化ジルコニウムとの組み合わせでも従来研磨より高い研磨能率が得られることが判明し、レアアースをまったく用いない組み合わせの研磨を明らかにした。

レアアースの酸化セリウムは現在中国が主要産出国となっており、供給リスクが高まっている。同研究グループが発表した論文は、資源の保全と同時に研磨コストの低減が可能になることから、時代のニーズに合い、工業的および工学的に優れているとして評価され、今回の受賞に至った。

*「日本機械学会賞(論文)」とは、日本機械学会が、機械工学と工業の発展を奨励することを目的に優秀な論文に贈るもので、機械工学の分野ではもっとも権威ある賞とされている。



研究グループの中心になって開発にあたった村田助教



エッチング切断装置



SPORTS スポーツ

問い合わせ先: スポーツ強化センター
075-465-7863

女子陸上競技部

第30回全日本大学女子駅伝対校選手権大会2年連続7回目の優勝

(10月28日 宮城県仙台市)

第30回全日本大学女子駅伝対校選手権大会において、女子陸上競技部が、2年連続7回目の優勝を飾りました。レースは2区を走った主将の藪下明音選手(経営3)が区間賞の走りで首位に立つと、3区の津田真衣選手(経営2)、そして最終6区の三井綾子選手(スポーツ健康科学3)も区間賞を獲るなど、各選手が粘り強い走りを見せ、2時間6分5秒のタイムでゴールテープを切りました。

当日は宮城県をはじめ、東北各県の校友が仙台に集結し、関西から駆けつけた父母や立命館大学応援団の学生らとともに応援し、優勝を喜びました。



硬式野球部

金子侑司選手が埼玉西武ライオンズからドラフト3位指名

(10月25日 衣笠キャンパス)

2012年度プロ野球ドラフト会議において、体育会硬式野球部の金子侑司選手(産社4)

が埼玉西武ライオンズからドラフト3位指名を受けました。金子選手は、「小学校5、6年生頃からプロ野球選手になりたいと、夢を追いかけてきました。野球を頑張って続けてきて良かったです。立命館には、野球を自由にできる環境があり、長所を伸ばすことができました。家族はもちろん、監督や野球部の仲間など、これまで支えてくれた多くの人に感謝しています。これからが野球人生の新たなスタート。プロでは、技術はもちろん、精神的にも、人間的にも成長できるように頑張ります。応援よろしくをお願いします」と今後に向けた力強いコメントを述べました。



ラグビー部

関西大学Aリーグ2位で第49回全国大学ラグビーフットボール選手権大会への出場決定

(10月7日~11月25日 近鉄花園ラグビー場ほか)

2012関西大学Aリーグにおいて、摂南大学、京都産業大学などに勝利を重ね、全勝決戦となった天理大学戦では惜しくも敗れたものの、その後、同志社大学と大阪体育大学を破り、関西大学リーグ2位を確定させました。この結果を受けて、ラグビー部は、第49回全国大学ラグビーフットボール選手権大会(11月18日~2013年1月13日に開催)への出場を決めました。全国大学ラグビーフットボール選手権大会は2012年度より対戦方法が変わり、各出場校の試合数が増加します。ラグビー部の全国大会での活躍が期待されます。



相撲部

第9回世界女子相撲選手権大会で山中未久選手(スポーツ健康科学1)が3位入賞

(10月28日 中国香港)

第9回世界女子相撲選手権大会において、山中未久選手(スポーツ健康科学1)が軽量級(65kg未満級)で3位入賞を果たしました。山中選手は軽量級で出場しました。力で勝る外国人選手に対し、持ち前のスピードと技術で、順当に勝ち上がりました。準決勝は、前回大会優勝のポイコフ・アリナ選手(ウクライナ)と対戦し、相手のパワーを前に惜敗したものの、3位決定戦ではスピード感溢れる相撲で勝利し、3位入賞を果たしました。



ホッケー部(男子)

男子ホッケー日本リーグ2連覇・第61回男子全日本学生ホッケー選手権大会優勝を達成!

(10月21日 岐阜県グリーンスタジアム)



2012年男子ホッケー日本リーグにおいて、ホッケー部(男子)が延長戦までもつれ込んだプレーオフ決勝で名古屋フラーテルを2対1で破り、日本リーグ2連覇を達成しました。また、11月2日から7日にかけて、終野ホッケー場ほかで開催された第61回男子全日本学生ホッケー選手権大会において、3年ぶり4度目の優勝を果たし、最優秀選手に主将であるFW藤吉陽之選手(政策4)が選出されました。なお、第34回女子全日本学生ホッケー選手権大会では、ホッケー部(女子)が4位入賞を果たしました。

日本拳法部

辻竜汰選手(政策4)が第28回全日本学生拳法個人選手権大会で2連覇

(10月28日 名古屋市枇杷島スポーツセンター)

全国から男子106人の選手がエントリーしたトーナメントの第28回全日本学生拳法個人選手権大会において、2011年度の優勝者である辻竜汰選手(政策4)は、準決勝までの4試合を順当に勝ち上がり、準決勝では同志社大学、決勝では神戸大学の選手に勝利し、大会2連覇を果たしました。

CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先: 学生オフィス
075-465-8167

ダブルダッチ

ダブルダッチ世界大会「DOUBLE DUTCH HOLIDAY CLASSIC」で初優勝

(12月2日 ニューヨーク・アポロシアター)

ダブルダッチの世界大会「DOUBLE DUTCH HOLIDAY CLASSIC」において、国内大会で2位と3位を獲得して日本代表として出場した、本学のダブルダッチサークル「Fusion of Gambit」の「戒」が優勝、「M.A.D」が3位入賞を果たしました。今回は、2011年に本学のチームが獲得した2位と3位を超える快挙達成となりました。



優勝を果たした「戒」



3位を獲得した「M.A.D」

囲碁研究部

柳田朋哉さん(文1)が第49回全日本学生囲碁十傑戦で初優勝

(11月24日、25日 日本棋院京都本部藤田塾)

第49回全日本学生囲碁十傑戦において、関西代表として出場した囲碁研究部の柳田朋哉さん(文1)が初優勝を果たしました。前年の優勝者も出場するなど、実力伯仲の大会で1回戦から接戦となったものの、決勝では京都教育大学の夏冰選手との一戦を制しました。12月23日から開催される団体戦の全日本大学囲碁選手権においても、囲碁研究部の活躍が期待されます。



CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先: 学生オフィス
075-465-81672012年学園祭を開催!
今年のテーマは「React」

(11月3日、4日びわこ・くさつキャンパス、11月10日、11日衣笠キャンパス)

2012年度立命館大学学園祭を開催しました。今年のテーマは「React」。「見つめ直す」、「影響し合う」という意味が込められ、学園祭を通して学生自身が自分を見つめ直し、さらに来場者と学生が相互に影響し合える学園祭を目指しました。当日は、模擬店フリーマーケット、学生団体によるステージパフォーマンスや展示・体験企画などに、学内外から大勢



びわこ・くさつキャンパスの様子

の人が訪れ、両キャンパスとも盛り上がりを見せました。今年は、東日本大震災の被災地である岩手県大船渡市の魅力を伝える目的で、大船渡市から送られてきたサンマ200匹を塩焼きにして販売する企画や被災地の復興の現状を伝えるパネル展示、震災から1年7ヶ月を迎えての灯籠カンドルイベントなど、学生による多くの企画が行なわれました。



衣笠キャンパスで行なわれたサンマ販売

BKCに1200人の小学生が集合!
「ジュニアスポーツフェスティバル KUSATSU」

(10月19日 びわこ・くさつキャンパス)

草津市教育委員会の主催のもと、「ジュニアスポーツフェスティバル KUSATSU (J.S.F) 2012」が開催され、草津市内にある13の小学校に通う6年生児童約1200名がスポーツを通じて大学生との交流を行ないました。

小学生代表39名と草津市に本拠地を置くサッカークラブ「MIOびわこ滋賀」の選手によるエキシビジョンマッチや、学校対抗4×100mリレーで優勝した小学生チームと立命館大学男子陸上部による4×100m対抗リレー、立命館大学応援団チアリーダー部「PEEWEEES!」による演技が行なわれました。参加した子どもたちは元気いっぱいスポーツを楽しんでいました。



東日本大震災 私たちにできること

「大船渡漢字探検隊－漢字あそび大会」を 岩手県で初開催

10月13日(土)と14日(日)の二日間、岩手県大船渡市のリアスホールにおいて、「大船渡漢字探検隊－漢字あそび大会」を開催しました。漢字探検隊は、これまで近畿地方を中心に全国各地で開催してきましたが、今回は2012年4月に本学と「災害復興へ向けた連携協定」を結んだ岩手県大船渡市で、初めて開催しました。当日は、漢字をテーマにしたゲームや名前を古代文字で書く企画などが行われ、災害復興支援室が派遣した後方支援スタッフの学生8名が、参加した子どもたちと交流する姿が見られました。



スポーツ健康科学部が限られた状況でもできる運動プログラムを開発 岩手県教育委員会の指導主事兼体育主事協議会研修会での講義および実技を実施

10月19日(金)、スポーツ健康科学部の大友智教授と家光素行准教授が、岩手県盛岡市で開催された岩手県教育委員会の指導主事兼保健体育主事協議会研修会にて、限られた状況でもできる運動プログラム(文部科学省復興教育支援事業)について、講義および実技を行ないました。



グラウンドに仮設住宅が建設され、体育館などの限られた場所でしか運動ができない状況にある大船渡市立第一中学校の生徒に、2012年2月から6月にかけて、同運動プログラムを提供した結果、運動能力の大幅な向上が見られました。今回は、その成果を踏まえ、岩手県内の小・中学校へ広く情報提供が行えるよう、被災地支援の取り組みの一環として、スポーツ健康科学部所属の教員などが開発した運動プログラムの内容を紹介しました。

スポーツ健康科学部が大船渡市立猪川小学校で運動教室 「美ボディ♪ Let's Try ～あなたも目指せ!! 引き締めボディ～」を開催

10月27日(土)、スポーツ健康科学部は、大船渡市立猪川小学校の家庭教育学級のプログラムとして、同小学校に通う小学生の父母と児童を対象に運動教室を開催しました。今回、大船渡市から依頼を受け、スポーツ健康科学部の教員と学生が筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせた、音楽に合わせて楽しくシェイプアップできる運動プログラムを開発。約100名の参加者に、スポーツ健康科学部の3名の教員と7名の学生・大学院生が開発した運動プログラムをもとに運動指導を行ないました。



応援団吹奏楽部が宮城県石巻市・東松島市を訪問 吹奏楽部の中学生・高校生と音楽を通じて交流

10月27日(土)、28日(日)、応援団吹奏楽部の学生54名が宮城県石巻市・東松島市を訪問し、宮城県石巻高等学校と東松島市立矢本第二中学校の吹奏学部との合同練習および合同演奏会を行ないました。今回の取り組みは、東北吹奏楽連盟の協力を得て実現したもので、現地へ赴く前に、学生たちは事前プログラムを受講し、現地の方々と接するときの心構えを学び、訪問しました。現地では、合同練習の後、28日(日)に石巻高等学校講堂において、三校合同による演奏会を開催。大学生単独ステージ、合同ステージにて7曲を演奏しました。



文部科学省「平成24年度 グローバル人材育成推進事業」に 情報理工学部・情報理工学研究科の プランが採択されました

文部科学省「平成24年度グローバル人材育成推進事業(タイプB)」に立命館大学から情報理工学部・情報理工学研究科のプラン「グローバルIT人材育成リーディングプログラム」が採択されました。「グローバル人材育成推進事業」は、若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るべく、大学教育のグローバル化を目的とした体制整備を推進する事業に対して重点的に財政支援することを目的としたもので、タイプA(全学推進型)とタイプB(特色型)に分かれています。タイプBには全国の国公私立大学から111件(私大54件)の申請があり、31件(私大15件)が採択されました。なお、タイプAでは立命館アジア太平洋大学が採択されました。

香川県と「就職支援に関する協定」を締結

11月15日(木)、立命館大学と香川県が連携協力し、香川県内の企業等による合同企業説明会を開催するなど、学生の就職活動を支援し、香川県へのU・Iターン就職の促進を図ることを目的として、香川県と「就職支援に関する協定」を締結しました。立命館大学では、在学生の約半数が関西圏外の出身者で、これまでも地域の核となる人材を育成するとともに、Uターン就職の支援に力を入れてきました。今後両者は、協定に基づき香川県出身学生のUターン就職の促進および香川県出身以外の学生のIターン就職の促進を図っていく予定です。



2012年度 秋季入学式を挙行



9月25日(火)、朱雀キャンパスにおいて2012年度立命館大学・立命館大学大学院秋季入学式を挙行し、世界各国から133名(学部生25名、大学院生108名)の新入生を迎え入れました。立命館大学では、2011年度に英語のみで学位が取得できるグローバル・スタディーズ専攻(以下、GS専攻)を国際関係学部へ開設。外国籍を持つ留学生を対象に学部生の秋入学も2011年度に開始しました。開設2年目となる2012年度はGS専攻の秋入学の募集基準を新たに日本人にも拡大し、初めて日本人学部生3名が入学しました。当日は、開式にあたり、出席者全員で校歌を斉唱。つづいて川口清史・立命館大学長が式辞を述べ、新入生代表の2名がこれから始まる大学生生活への抱負を述べました。

「グローバルキャリア企画 Creating a Future Beyond Borders」を開催

11月24日(土)、衣笠キャンパスにおいて、グローバル・キャリア支援企画「Creating a Future Beyond Borders」を開催しました。本企画では、ブータン政府のGNHコミッションに初代首相フェローとして観光産業の育成に従事した経験を持つ御手洗瑞子氏など、大学で海外留学を経験した方や、卒業後に国際社会で活躍している方々が、海外経験の意義や魅力について、学生や若手校友など



約150名に向けて講演を行ないました。その後行なわれたパネルディスカッションでは、留学経験をキャリアにつなげた校友の皆さんと学生が、「留学経験とキャリアプランニング」をテーマに意見交換を行ないました。立命館大学の卒業生が在学生の進路相談にのる「OB/OG訪問」を実施され、多様な業種の卒業生の話に、熱心に耳を傾ける在学生の姿がみられました。

ランチパック 「赤ワイン風味の牛タンシチュー」を 経営学部の学生が 山崎製パン株式会社と共同開発

商品開発やマーケティングを学ぶ経営学部の学生3名が、山崎製パン株式会社と共同で、同社の「ランチパック」の新商品「赤ワイン風味の牛タンシチュー」を開発しました。



2011年のスポーツ健康科学研究科の大学院生に引き続き、2回目の開発となります。

立命館大学の他に同志社大学、関西大学、関西学院大学の学生も商品を開発しました。「赤ワイン風味の牛タンシチュー」は、2012年12月1日(土)から31日(月)まで近畿2府4県(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、三重県の一部)コンビニエンスストアなどで発売されました。

2012年度立命館大学 「学生部長表彰」表彰式を開催

10月11日(木)、衣笠キャンパスおよびびわこ・くさつキャンパスにおいて、2012年度立命館大学「学生部長表彰」の表彰式を開催しました。立命館大学では、2012年度に、学生からの意見や学生生活実態をもとに「経済支援」と「成長支援」の2つの側面から奨学金・助成金制度の大幅な見直しを行ないました。新奨学金制度の一つである「学生部長表彰」は、学生の諸活動において、立命館学生文化の担い手となる活動あるいは、地域・社

会の発展に寄与する活動において優れた実績をあげ、さらに国内外で活躍が期待される個人・団体を励まし表彰することを目的としています。今回は、スポーツ分野で個人29名、9団体、文化・芸術分野で個人12名、7団体が受賞しました。



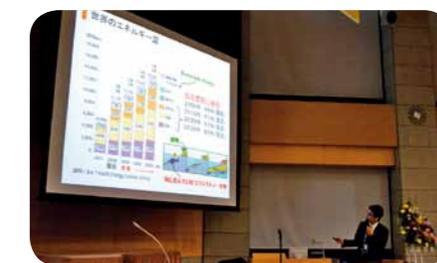
BKCでの表彰式の様子



衣笠キャンパスでの表彰式の様子

立命館イノベーションフェア2012

11月29日(木)、30日(金)、びわこ・くさつキャンパスにおいて、立命館イノベーションフェア2012を開催しました。立命館大学は、太陽光エネルギーや食料生産など「ヒューマン・エコロジー社会の実現」をテーマに、学内予算による大型研究プログラム「拠点形成型R-GIRO研究プログラム」を設け、異分野融合によるキャンパスと地域が連携した研究を2012年10月よりスタートさせました。2012年度、拠点形成型R-GIRO研究プログラムに採択された4研究拠点5プロジェクトの拠点リーダーが、これから地域や企業、自治体と進めていく研究内容の紹介を行ないました。また、若手研究者の育成を目的として2012年より創設された「立命館大学イノベーションフェア研究奨励賞」の表彰式も行なわれました。



立命館大学の研究者を紹介！

雑誌「AERA」(朝日新聞出版)にて研究者紹介シリーズ第5弾がスタートしました。

今日のテーマを研究している研究者を中心に、2012年12月3日(月)～2013年3月11日(月)発行のAERAに毎週掲載される予定です。また、掲載された内容は立命館HPでご覧いただくことができます。



12月10日発売号に登場した情報理工学部の高田秀志教授

「2011年度事業報告書」および「2012年度事業計画書」のご案内

このたび、学校法人立命館の「2011年度事業報告書」および「2012年度事業計画書」を発行いたしました。大学ホームページでも閲覧可能です。(http://www.ritsumei.jp/profile/a08_j.html) なお、冊子をご希望の場合は、下記の事務局宛にご希望の冊子名、冊数とお名前、送付先、電話番号をご記入の上、FAXにてお申込みください。

学校法人立命館
事業計画課

〒604-8520
京都市中京区
西ノ京朱雀町1番地
TEL:075-813-8244
FAX:075-813-8252



なつかしの立命館映像大募集！



広小路キャンパス、友人と盛り上がった学園祭や立同戦など、校友のみなさんがお持ちの立命館大学に関する映像を募集します。ご応募いただいた映像は、編集した上でYoutubeの立命館公式チャンネルで順次公開いたします。皆さんの記憶に残っているなつかしの立命館大学を全国の校友の皆さんと共有しましょう！

内容

- 20年以上前の立命館大学に関する映像が対象です。キャンパス、スポーツ、サークル活動、立命館大学に関するなつかしい映像であればなんでも可能です。
- ご応募いただいた映像が広報課にて編集いたします。
- 映像が記録されたメディアは、指定しません(8mmフィルムやビデオテープなど古い形式のものでも可能)。

ご注意事項

- 内容によっては掲載いたしかねる場合もありますので、ご了承ください。
- 映像は、公序良俗に反しないもの、個人がはっきりと特定できないものをお願いいたします。
- ご応募いただいた記録メディアは広報課が責任を持って返却いたします。

応募方法

お名前、ご住所、お電話番号、ご出身学部とご卒業年を明記の上、以下の住所まで郵送でご送付ください。映像を掲載させていただいた方には記念品を進呈させていただきます。

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
立命館大学広報課「なつかしの立命館映像」担当まで
電話番号：075-813-8300

日本学生支援機構(旧 日本育英会)奨学金 返還中のみなさまへ

～お知らせとお願い～

●返還は滞りなく行なわれていますか？

引き落とし口座の残高不足や住所変更による振込用紙の不着などで、延滞となっております場合があります。今一度、ご確認をお願いします。

延滞される卒業生の方が多くなりますと、在学生の採用数が削減され、後輩たちの学業継続に影響がおよぶ場合があります。

●在学中・入学準備中・経済困難・病気・失業などにより返還が困難となられた場合

状況に応じて、減額返還・返還の猶予を申請することが出来ます。以下をご参照いただき、日本学生支援機構に直接お申し出ください。延滞されますと、延滞金の賦課・個人信用情報機関への登録などの不利益が生じる場合があります。

詳しくは以下をご参照、もしくはご相談ください。

HP <http://www.jasso.go.jp/henkan/index.html>

電話 日本学生支援機構奨学金返還相談センター
0570-03-7240(8:30～20:00 土日祝日・年末年始を除く)

立命館大学の貸与奨学金の返還状況も併せてお確かめください。立命館大学の貸与奨学金返還についてのお問い合わせは以下までお願いします。

学生オフィス(衣笠)
075-465-8168(土・日・祝日を除く 10:00～17:00)

+R なる人

「誇り」と「一体感」こそ
ホッケー部最大の武器

藤吉陽之 さん(政策科学部4年生)
ホッケー部(男子)主将

西日本学生ホッケー選手権大会6連覇、日本リーグ2連覇、全日本学生ホッケー選手権大会で3年ぶり4度目の優勝を果たすなど、期待に答える活躍を見せてきたホッケー部(男子)。藤吉陽之さんは、主将としてこの1年間チームを率いて来た。

小学校1年生からホッケーを始め、立命館中学校・高等学校でもホッケー部に所属。立命館大学ホッケー部と合同で練習する機会もあり、高校時代から全国屈指のホッケー部の強さ、そして伝統を身近で感じて来た。立命館大学入学後は、1回生から出場を重ね、2010年には主要大会6冠獲得にも貢献した。

多くの勝利を重ねて来たホッケー部の強さの理由はどこにあるのか。藤吉さんは「先輩後輩関係なく、選手がチーム内で遠慮なく言うべきことを言うことができるチームの雰囲気。そして、常に勝ち続けるんだというプライド。これは立命館大学ホッケー部の伝統であり特徴だと思います」と語ってくれた。

藤吉さんが主将を引き継いだ2011年12月。不安を感じたのは、チームの精神的支柱であった4回生が引退し、ホッケーへの意識が高く、個人として確かな技術と経験を備えた部員達をチームとしてまとめることができるのか、という点だった。そこで、藤吉さんは主将になって以降、部員一人ひとりから直接話を聴き、ホッケーに対する思い、抱えている悩みや

課題を、時には食事や居残り練習にも付き合いながら共有し、後輩の意見であっても優れた意見は積極的にチーム運営へと取り入れてきた。4回生のチームメート達もこれに協力。回生に関係なく、

誰もが積極的に意見を出し合える、「チームとしての一体感」を作り上げて来た。

6月の全日本大学王座決定戦は準決勝で敗れ、8月にはホッケー部が京都府代表として出場した国民体育大会の予選である近畿・東海ブロック間代表決定戦で敗退し、出場を逃した。このどん底の状態からチームを救ったのは、「チームとしての一体感」と全国タイトルを獲得しないまま終われないという「ホッケー部としてのプライド」だった。

チーム全体で徹底的に話し合い、チームの抱える課題を分析・共有。スピードと試合終了まで走りきる体力を身につけるため、ランニングをさらに負荷の高いメニューへと変更。そして、「先制されると実力を出せないまま勝ちきれない、勝負弱い部分がありました」という精神面での課題に対しても、ロンドンオリンピックに出場した南アフリカ代表のウォームアップを参考に、集中力を高められるように「試合への入り方」を改善。「試合終了まで集中力が途切れることがなくなり、勝ちきれようになりました」と語ってくれたように、見事国体予選で敗れた名古屋フラーテルを破ったの日本リーグ2連覇、全日本学生ホッケー選手権大会優勝を勝ち取った。

これからチームを引き継ぐ後輩たちへ「主将一人でチームを引っ張って行くのではなく、全体でまとまって進んでいくチームであり続けて欲しいです」とメッセージを語ってくれた。また、「ホッケー部OBOGの皆さんをはじめとした多くの校友の皆さん、そして附属校の皆さんの応援はいつも心強く、感謝しています」と校友へのメッセージも語ってくれた藤吉さん。2013年4月からは社会人となるが、大舞台や厳しい状況を乗り越えてきたホッケー部での経験を土台にした、新たなステージでの活躍を期待したい。



全日本学生ホッケー選手権大会で活躍する藤吉選手



日本リーグ優勝時に撮影した集合写真

校友会・グループ インフォメーション			
校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
九州ブロック女子会・新年会	1/19(土)		
建立会総会(建設会大阪支部)	1/19(土) 14:00	ヴィアーレ大阪	原田 直樹 090(8993)7108
マレーシア校友会	1/20(日)	未定	細谷 祐司 (メール) yuji123@peace.name
北海道校友会総会	1/26(土)		中川 均 (職) 011(251)3373
北朋会総会	1/26(土)		中村 素木 (職) 011(381)8888
紫明会(深井純一ゼミ同窓会)「深井純一先生を偲ぶ会」	1/26(土) 13:00	奈良ホテル	飯田 正志 (メール) campmarcy7@gmail.com
資本論学習会同窓会	1/26(土) 18:00	嵐山まつ屋	宮木 正典 090(3918)2778
湘南クラブ新年会	2/3(土)		
立命館大学交響楽団大分演奏会	2/27(土)	iichikoグランシアタ	

校友消息(判明分)

叙勲2012年秋 ■旭日中綬章 水野武夫氏(64法) 元日弁連副会長 ■瑞宝中綬章 長崎紀彦氏(65法) 元福岡県出納長 塾上 定氏(55経済) 新潟大学名誉教授 ■旭日小綬章 北野志郎氏(60経済) 元榎屋川市議 ■瑞宝小綬章 高田慶久氏(63法) 元京都府出納管理局長	山田豊昭氏(66法) 元神戸地検明石支部長 ■旭日双光章 滝沢隆司氏(65経済) 元彦根市議 ■瑞宝双光章 岩田善次氏(57経済) 元京都大化学研究所事務部長 竹尾 紘氏(66法) 元近畿管区行政評価局第二部長 庭田幸明氏(65法) 元近畿運輸局鉄道部長 松本尚子氏(89法) 元京都第一赤十字病院看護部長	■瑞宝単光章 井口 豊氏(56経済) 元京都市左京消防団分団長 危険業務従事者叙勲2012年秋 ■瑞宝双光章 井上英喜氏(67法) 警察功労 大野勝英氏(70法) 警察功労 谷垣庄吾氏(67法) 警察功労 古川恒夫氏(66理工) 消防功労	■瑞宝単光章 今津 進氏(78経済) 警察功労 大谷剛市氏(67法) 警察功労 奥 征一氏(64法) 警察功労 褒章2012年秋 近藤精一氏(69理工) 三河プロペラ社長 中岡博之氏(69産社) 土地家屋調査士 長谷川 茂氏(74経営) 興和コーポレーション社長	受賞 三輪金久氏(63経済) 教科書供給功労文部科学大臣表彰 泰文堂書店社長 森村義明氏(62法) 米国農産物貿易の殿堂入り 牛若商事(株)代表取締役社長 就任(内定含む) 吉田与志也氏(76経済) キョーリン製薬グループ工場(株) 代表取締役社長 10月1日就任 瀧山浩二氏(94経済) 丸東産業代表取締役社長 11月26日就任	訃報 貞広太郎氏 立命館大学名誉教授 10月9日ご逝去。88歳。 福本武明氏(65院工修) 元理工学部名誉教授 11月25日ご逝去。73歳。
---	--	--	---	---	---

BOOKS

- 校友会へご惠贈くださいました本の中から紹介させていただいております。
- ◆四方利明氏(95法)著 『学校建築の諸相』 阿吡社*2100円+税
 - ◆中島克幸氏(85法)著 『古都のドラマを訪ねて 京都・奈良』 文芸社*1500円+税
 - ◆橋本清治氏(03院法)著 『税法条文の見方・読み方』 清文社*3000円+税
 - ◆八田真太氏(02経済)著 『関西弁超訳論語』 アールズ出版*1400円+税
 - ◆日野雅之氏(69文)著 『たった一度の箱根駅伝』 大成出版社*952円+税
 - ◆山田 航氏(06法)著 『さよならバグ・チルドレン』 2200円+税

お詫びと訂正
りつめい250号P30「BOOKS」(寄贈図書ご案内欄)において、宮本道子氏(01文)の著書を『追憶のバルティータ』と掲載しましたが、正しくは『追憶のバルティータ65』の誤りでした。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

弁理士試験合格祝賀会を開催します!

立命館大学弁理士校友会では、毎年、弁理士試験合格祝賀会を開催しています。本年度の弁理士試験に合格された方、また前年度以前に弁理士試験に合格された方で本会からの連絡がまだ届いていない方は、下記連絡先まで、ぜひご一報いただきますようお願いいたします。

【メール】 ryuichi@tanida.name
立命館大学弁理士校友会広報幹事 谷田龍一(89理工)
http://alumni.ritsumeiji.jp/benri/

母校の知的財産の校友の皆様への紹介・斡旋について
立命館大学校友会会長 山中 諄

平素は校友会活動にご協力ご理解を賜りまして厚くお礼申し上げます。
この度、校友会では、その活動の一環として、校友の皆様へ母校・立命館大学が所有する特許権などの知的財産権のご紹介とその有効活用の斡旋をさせていただくことになりました。
立命館大学では、学部・大学院や研究所の優秀な教員や研究者が、それぞれの専門分野において日々新たな研究テーマに取り組み、研究・技術開発に専念しています。
このような母校の研究者によってなされた発見・発明の塊である知的財産を、まず率先して校友や関係する企業・団体にご紹介し、社会に有為な製品やサービスを提供して、校友の皆様の事業の発展に繋げていただこうと、校友会ではこの紹介・斡旋事業を行なうこととなった次第です。
つきましては、母校の保有する知的財産権の内容、母校の研究者とその専門分野、母校との共同研究・開発の具体的方法、大学施設の利用方法などにつきまして、校友会を窓口としてご説明・ご案内をさせていただきますので、ご関心をお持ちの方は、お気軽に担当窓口までご連絡ください。

皆様の積極的な活用をお待ちしております。

【知的財産権のデータベース】校友会HPから閲覧できます。
【校友会事務局窓口】渡部 徹
【メール】alumni@st.ritsumeiji.ac.jp
【電話番号】075-813-8216 【FAX】075-813-8217

『八重の桜』は、同志社の創立者である新島謙の妻・八重が主人公の2013年のNHK大河ドラマです。

「烈女」を好感度の高い人気女優が演じるのは演出ゆえですが、来春の文系学部の今出川キャンパス統合と併せて、ライバルは、そして京都は沸きかえっています。
翻って、わが立命館は、ドラマにこそならなくても「R2020」学園ビジョンと中期展望に基づき、2015年開設目標の「OIC」(大阪茨木キャンパス)による大阪新展開、新棟建設による衣笠再整備、BKC(びわこ草津キャンパス)充実などの「立命館大学キャンパス創造の基本構想」の実現が着々と進行中です。校友会報「りつめい」はこれからも最新の情報をお届けして参ります。
追記 同志社出身の我が妻も勿論『八重の桜』放映を心待ちにしています。(宮西徳明)

昨年からブームになり「断捨離」と呼ばれている片づけをやってみました。思い切って捨てる!と決めると心地よくどんどん捨てることができます。最後に残ったのが実家にあった昔の録画ビデオでした。ほとんどが子供のためのアニメや、好きな映画なのですが、意外におもしろかったのがコマーシャルです。自動車、化粧品、食品がメインなのは今と同じですが、その時代をよく表していて懐かしい思い出でした。興味深かったことは当時のCMはいまでも見ればすぐに思い出すほどインパクトのある画像と、BGMなどは一緒に口ずさめてしまうほど記憶に残っていたことには驚きました。マイベストは社会人になった頃に大ヒットしたホンダのワンダーシビックのCMです。これから寒さも本番、校友の皆様もどうぞご自愛ください。(西村仁)

時 代祭の頃までは暖かい夏が続いていましたが、それを過ぎると急に寒くなってきました。今年は、まるで秋が2週間ぐら

いしかなかったみたいな気分です。一気に冬の気候がやってきました。気候ばかりでなく、大学生の就職戦線もお寒い状態が続いているようです。さらに困ったことに、教育や飲食店の分野では、就職しても3年以内に退職する人が多いとか。それらの業界の労働環境が劣悪であることは、いわば常識的な気もするのですが、あえてそこに飛び込んだ若者には、選択の余地がなく、仕方なく就職したという人も多いのかもしれませんが。自ら経営者となるつもりなら、他人の何倍も休み無しに働くというのもあるでしょうが、新入社員には酷な職場なのでしょうね。(GEORGE)

東 日本大震災で被災された方々が前を向いて懸命に生きる姿に、私達が勇気づけられるように、逆境をバネに努力する人の姿に心揺さぶられるものです。私も、先日認知症の父の介護で帰省したら、「俺は大丈夫。お前こそ頑張れ」と逆に励まされました。『人の一生は重荷を負って遠き道を行くが如し、急ぐべからず。不自由を常と思えば不足なし』一地元出身の徳川家康の遺訓を教えられているよう

でした。
今は先が見えない時代。だからこそ、どんな境遇でも前を向いて、人とリンクしあい、互いに助け合うことが大切な時代だと感じます。立命館には校友という名の大勢の「仲間」がいます。様々な境遇にある校友同士が、離れていても繋がっているという実感をさらに持つことができればいいなと感じるこの頃です。(加藤良直)

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

第77回ミニ企画展示
ウラジオストクにおける日露民衆交流の歴史と現在
-「シベリア出兵」との関わりも含めて-
極東ロシアの中心都市ウラジオストク。明治、大正時代、この地には多くの日本人が商店や銀行などを営む日本人街が存在していました。日露戦争、シベリア出兵、第二次世界大戦、ソ連時代という歴史の厳しい波にもまれながら、現在にも引き継がれている日本人とロシア人の交流の歴史と、現在のウラジオストクの素顔を紹介します。

第78回ミニ企画展示
第18回京都ミュージアムロード参加企画
「京都青春時代-学生と戦争の風景-」
日本が一五年戦争へ突入していった時代、文化や思想の統制は厳しさを増していきました。しかし、学生たちはしばらくは兵役を免除され、独特の学生文化を育みながら夫々の青春、生活を送っていました。けれども、戦争の熾烈化にともない徴兵猶予は停止され、学生たちも戦場へ駆り出されていくこととなります。本展では、学生たちのきらきらとした生活風景を資料を通じて紹介すると共に、戦況がひっ迫するなか、葛藤し苦悩する姿にせまります。

学生ミュージアムスタッフと国際平和ミュージアムによるコラボ企画★
大学生制服
腕章
展示にむけて打合せをする学生ミュージアムスタッフ。資料の選定や解説文の執筆など、日々がんばっています!

会期	ウラジオストクにおける日露民衆交流の歴史と現在 -「シベリア出兵」との関わりも含めて- 2013年1月12日(土)～2月3日(日) 第18回京都ミュージアムロード参加企画 「京都青春時代-学生と戦争の風景-」 2013年2月9日(土)～3月24日(日) 常設展示(地階・2階)は、上記展示期間以外でも見学することができます。	開館時間	午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日		観覧料	月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、'12年12/26(水)～'13年1/7(月) 一般400円(350円) / 中・高生300円(250円) / 小学生200円(150円) ()は20名以上の団体料金 / 障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

立命館大学国際平和ミュージアム
特別展・常設展
青少年
2013年3月14日(日)まで
校友招待券
No.251